

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書
(実施対象：3歳児クラス)

モニカ人形町園

M  nica

テーマ

光のアトリエ

設定理由

光あそびを保育室で経験し、戸外で光に関心を持ちこの様子がみられる。園内の多目的室などで空間を作る。自らの気づきを遊びにさせることが出来るような取り組みを継続的に行って行きたいと考えこのテーマとした。

対象クラス

3歳児クラス・11名

活動のねらい

光の存在に気づき、不思議さを感じる

問い

「なにがみえる？」
「どんな風に見える？」

活動期間

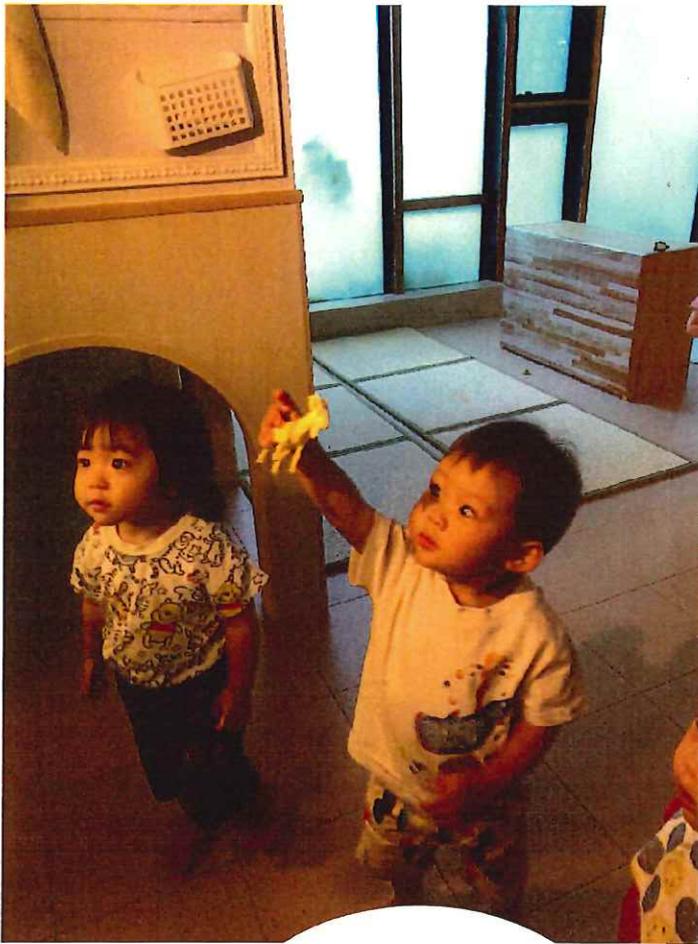
令和7年10月～令和8年2月

活動回数

計3回

「あれ？何かいるよ」

いちご組



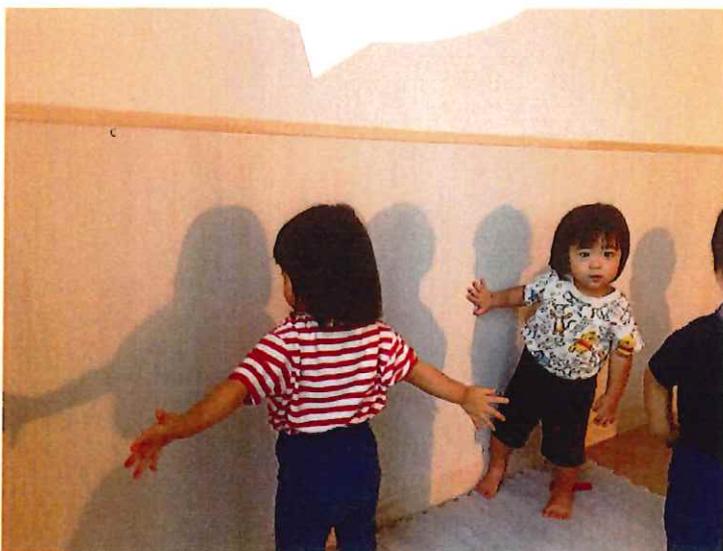
電気を消してスタンドライトをつけてみると…？



ライトに動物のフィギュアやパズルを当ててみる子、電気を追いかけて床の明るいところを触りに行く子、暗い空間に光を見つけ興味津々な様子



動いてる!!!



次は壁に光を当てると光を追いかけて壁際に行った子どもたち。

「あれ？何かいるよ」と壁に映る

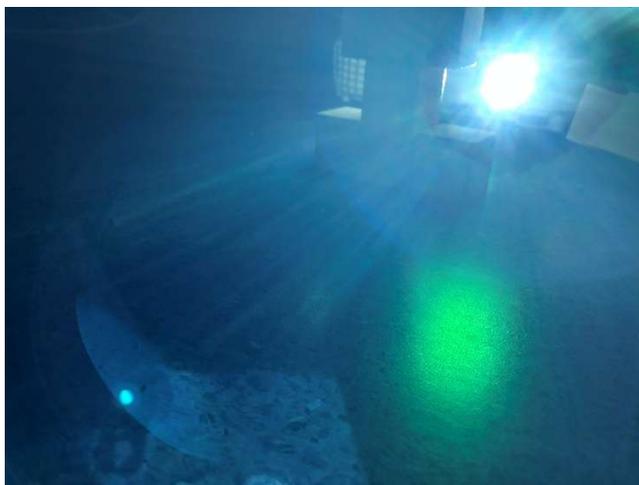
【なにか】に気付いた様子。

初めは壁をじっと見て様子を伺っていたのですが手を動かすことでその【なにか】も動くことに気づき手や身体、足を動かしていました。

これからも環境や天候なども用いながら子どもたちの興味が広がるよう保育に繋げていきたいと思ひます。

影を見つけた子どもがいた一方で、

光を見つけた子どもたちもいました。

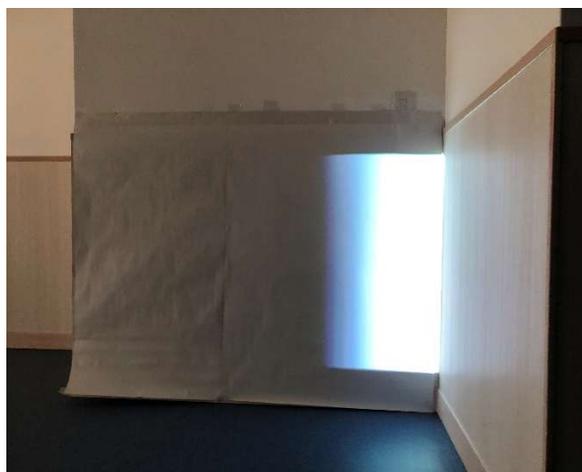


みどりと、しろと、
あっちはおれんじ…。
あ、かみのけは、むらさきに
なってるよ。

あ、まぶしい。



つみきをおいたら、
くろいのがおおきくなって
そうしたら、
しろいところが
ちいさくなった。



他に、「まぶしい。」「あったかい。」「たいようみたい。」
と話す姿が見られました。振り返りのサークルタイ
ムでは、“くろいの”は影ではないかという考察をす
る姿も。

光と影は、いったいどこから来るのでしょうか。

子どもたちと一緒に探究していきます。(宮下)

こうすると、ちいさくなる。

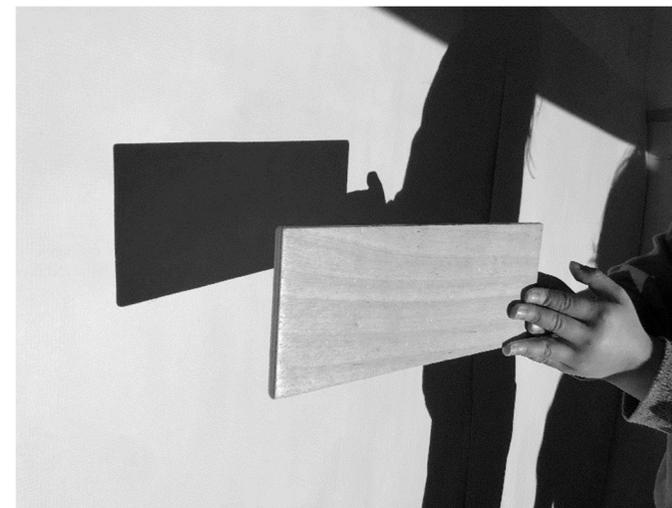
令和8年1月13日(火)
～1月16日(金)
きりん組



なんか、くろいのある。

かげじゃない？

こうすると、ちいさくなる。



こんどは、おおきくなった！

くろがおおきくなって、
しろいの、なくなっちゃったよ。

自分の体や積み木を動かしながら、
影の大きさを変化させて遊んでいます。



影に興味を持った子どもたちは、

その大きさや形が変化することに
気づいた様子でした。

自分や積み木が動くと、影も動く。

...

かげは、どこからくるの？

光は、どこからくるのだろうか？

鏡とライトを使い、様々な方向から光を当てたり、鏡を動かしたりしています。
光る場所を探して、あっちを見たり、こっちを見たり…。

あれ？どうしてここにあるの？

光の向きと場所をじっと観察して、動かしながら考えていた子どもたち。

“ひかりのみち”があるんだよ。

かがみが、ひかりとひかりを、つないでるんだ。

目の前の不思議な現象と、自分の知識や経験を重ねています。

でも、みえるところとみえないところがある。なんでだろう。

だいはっけんだね！

ひかりのみちは、どこでできる？

“なんでだろう”がたくさん、“だいはっけん”がたくさん。

一人の気づきが、みんなの気づきになり、
みんなの“だいはっけん”へと繋がります。

(宮下)

令和8年2月2日(月)
～2月6日(金)
きりん組





令和8年2月16日(月)～2月20日(金)

きりん組 宮下

自分で作った“キラキラシート”に光を当てると…

にじいろの、せかいになった。

なんか、たのしくなっちゃう！

いっしょに、かさねてみよう。

一人でじっくりとライトに当ててみたり、虹色の世界で踊ってみたり、友だちと一緒にシートを重ねてみたり。ライトの種類や置き方で見え方が変わるから、壁や天井と自分のシートを何度も見比べて遊び、色の重なりや変化に興味を持っている姿がありました。

にじいろは、ひかりだよ。

ひかりじゃなくて、かげだとおもう。

光か、影か。遊ぶたびに、新しい疑問が生まれて…。

子どもが興味を持ったことをじっくりと探究できるような環境を、今後もつくっていきます。

環境構成

保育室（多目的室）を使用し、「光」を感じられるような空間を作る。「光」と「影」という存在を感じ子ども達が、思うことを言葉にたり身体で表現する。光を映し出す空間では、自分の身体が壁に映る不思議さに触れたり、立つ位置によって影の大きさが違うことなどを知るといった経験をする場面をつくる。なじみのある積み木なども投影することを試す。

その中で自分の言葉で感じたことを表現することが出来るように、はいりよする。シンプルな環境の中で、集中して光の世界を感じる姿がみられた。ライトテーブルにカラーセロファン、カラーシフォン、おはじき、自然物などを置いて見るとどう見えるだろうかという活動では色の不思議さや美しさに触れ素材を重ねてみるなど子ども達それぞれが、触れるたびに見立てる様子や言葉が聞かれることがあった。子ども達なりに感じたことを自発的に表現する。

使用物

マイクロスコープ | 懐中電灯 | プロジェクター | スポットライト | カラーセロファン
カラーシフォン | 透明容器 | スズランテープ | スタンドライト | iPhone

テーマ：光のアトリエ

全体の振り返り

光と影の活動を通して、光の存在に気がつき自分が投影されている不思議さに気が付いたり、楽しむ姿が見られた。積み木などなじみのある素材を投影してみたいという声もあがり、試してみることも出来た。異素材（カラーセロファン、シフォン）を通して見え方の違いや不思議さを感じることが出来た。活動の後、戸外での活動の中でも太陽（光）と影を見つけたり、着眼を広げていく様子も見られた。活動を通して光を様々な視点で捉えるきっかけとなったと思う。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ人形町園

〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町3-4-8
アイビーコート日本橋人形町
TEL:03-6264-9244
FAX:03-6264-9245